

全社一丸で法令順守

中山商運 エコドライブ学ぶ



【三重】中山商運（中山、豊社長、三重県松阪市）は1日、ドライバーミーティング及びエコドライブ研修会を開いた。三重いすゞ自動車（川村則之社長、津市）のサービス担当者がポイントを解説した。

中山社長が、新たに獲得した仕事などを説明し新入社員を紹介。「我が社は、目標に向かい進んでいく船のようなもの。経営者として船のかし取りは行つが、

細かいことは言わない。ただ荷物を運ぶだけではなく常に頭で考えながら、自主的に業務に取り組んで欲しい」と述べた。

研修会では、三重いすゞ自動車サービス部品課の川口哲正係長が①ゆるやかな発進・加速②高段ギア走行③等速走行④排気ブレーキを入れっぱなしにしないなどを解説。トラックを使った始業前点検の講習も実施した。

中山氏は「今冬の大雪で交通が寸断されモノの流れが止まったことで、トラックの役割が再認識されたと思う。我々の仕事を認めてもらえるのはうれしいが、その分、事故防止や環境対策への社会的責任は増してくるだろう。全社一丸となり、気を引き締めてコンプレックス（法令順守）に努めたい」と話した。

（星野誠）

屋市は、研究所、ク、会、ク運、た、ト、送業、イバ、一人、てい、を合、てい、ゼロ、しい